

#### 4 文学書道館 事業実績

文学・書道資料の収集・保存、調査研究に努めるとともに、その成果を展示や催し、教育普及事業等に生かし、広く県内外から親しみ利用される施設となるよう魅力ある事業展開を図る。

##### (1) 顕彰、表彰事業【経費 1,144 千円】

	事業名	概要	経費(円)	収入(円)
1	第10回とくしま文学賞	<p>広く県民から文芸作品(10部門)を募集し、発表の場を提供することにより、文芸活動の活性化、県民文化の向上を図ることを目的に実施している。</p> <p>今年は、小説33人、脚本4人、文芸評論9人、児童文学30人、随筆76人、現代詩72人、短歌337人、俳句616人、川柳229人、連句34人の計1,440人から2,520点の応募があった。</p> <p>各部門の入選作品は、「文芸とくしま」に掲載し紹介した。</p> <p>表彰式:平成25年2月11日(月・祝)</p> <p>会場:ギャラリー</p> <p>応募者数:1,440名</p> <p>応募作品数:2,520点</p>	1,143,481	0

##### (2) 年鑑編集・刊行事業【経費 1,804 千円】

	事業名	概要	経費(円)	収入(円)
1	ことのは文庫 写楽太平記 上・下	<p>当館収蔵作家のひとり、貴司山治が執筆し、昭和33年に一年間にわたって徳島新聞など全国の地方紙に連載された、阿波騒動で知られる12代阿波藩主蜂須賀重喜と謎の浮世絵師“写楽”が相携えて巻き起こす時代小説を刊行した。</p> <p>A6版サイズ 各1,000部</p> <p>販売価格 各850円</p>	1,804,057	0

(3) 教育普及育成事業【経費 941 千円】

	事業名	概要	経費(円)	収入(円)
1	文学講座 古典を楽しむ 「伊勢物語」と「竹 取物語」を読む	「伊勢物語」・「竹取物語」を読み味わいつつ、時代背景とともに、日本人の心や言葉について考えた。 日時：平成24年4月～平成25年3月 (全12回の各土曜) 受講者数:552名 受講料:無料 会場:講座室	252,000	—
2	文学講座 小説を楽しむ	様々な小説を紹介しながら、小説の読み方、楽しみ方をわかりやすく解説した。 日時:平成24年5月～11月 (全4回の各土曜) 受講者数:160名 受講料:無料 会場:講座室	65,000	—
3	文学講座 言の葉テーマ朗読 会	展覧会のテーマに応じた文章と、「反戦」に関わる文章を朗読した。 朗読を楽しみ、朗読の質の向上を目指す講座生の中から希望者10人が5分ずつ読み、一般に公開した。映像とともに読むことも多く、展覧会の内容に迫ることもできた。 日時:平成24年5月～平成25年1月 (全4回の土・日曜) 参加者数:141名 受講料:無料 会場:講座室	0	—
4	文学講座 芸術・文化を語る	徳島ゆかりの芸術家・研究者に専門分野の話をしていただき、平和で心豊かな社会の創造について考える講座。 翻訳家の船越隆子氏、写真家の宮武健仁氏、作家の吉村萬壺氏、徳島大学准教授の境泉洋氏をお招きした。 日時:平成24年4月～平成25年2月 (全4回の各土曜) 受講者数:106名 受講料:無料 会場:講座室・ギャラリー	205,604	—

5	文学講座 夏休み文芸広場	<p>高校生、大学生対象の講座。徳島大学教授の依岡隆児先生に「読書とは」について語っていただいた。その後、依岡先生がレジュメに取り上げた名言の中から、受講生が好きなものを選んで発表する「読書会」をした。みんなそれぞれ、自分なりの意見を発表した。</p> <p>講座後のアンケートには、「もう少し気軽に読書をしてみたい」「本という共通の話題を持っている人達と意見をかわせてよかった」などの感想が寄せられた。</p> <p>日時:平成24年7月28日(土)</p> <p>受講者数:10名</p> <p>受講料:無料</p> <p>会場:講座室</p>	15,000	—
6	文学イベント なつやすみ絵本ひろば	<p>絵本を並べて、親子連れなどが楽しめる空間を作った。ブラックシアターやエプロンシアターなど工夫を凝らした絵本の朗読や、展示した本を自由に読めるようにしたほか、録画した絵本朗読の映像を流して、前日に来られなかった人にも見られるようにした。</p> <p>日時:平成24年8月25日(土)～ 8月26日(日)</p> <p>受講者数:32名</p> <p>参加無料</p> <p>会場:講座室</p>	15,000	—
7	文学講座 寂聴文学講座 ～寂聴が語る「女流作家伝」～	<p>女流作家について執筆したり、親しく交流してきた寂聴館長が、樋口一葉や林芙美子などの文学的業績や人となりを語った。</p> <p>日時:平成24年9月～11月 (全3回の各土曜)</p> <p>受講者数:274名</p> <p>受講料:無料</p> <p>場所:講座室</p>	0	—
8	文学講座 徳島の文学を楽しむⅦ～とくしま文学散歩～	<p>眉山、ひょうたん島、吉野川、鳴門など県内を写真で辿りながら、各地ゆかりの文学を紹介した。</p> <p>日時:平成24年9月～12月 (全4回の各土曜)</p> <p>受講者数:116名</p> <p>受講料:無料</p> <p>場所:講座室</p>	47,280	—

9	文学イベント 第11回言の葉朗 読会 「徳島」を読む	今年度は国民文化祭にちなみ「徳島を 読む」のテーマをかかげて、応募してく れた26人に朗読してもらった。阿波の 風景や人々の様子、それぞれの生き方 が浮かんでくる朗読であった。  日時:平成24年9月29日(土) 入場者数:59名 入場料:無料 場所:ギャラリー	0	—
10	文学講座 書くことを楽しもう	2010年とくしま出版文化賞を受賞し た、絵と文の作品集「郷愁—こころの ふるさとを求めて—」の作者 八木和彦 先生による文章実作講座。  誰の心の中にもある「ふるさと」を、音 楽や映像に触発されながら再発見し、 豊かな文章を生み出す創造性を高めて いった。また宮澤賢治の作品を味わい ながら、賢治の心のふるさとについて も考えた。  日時:平成24年10月～平成25年2月 (全5回の各土曜)  受講者数:91名 受講料:無料 会場:講座室	65,000	—
11	書道講座 七夕 書道教室	小学生を対象に、書への興味・関心 を深めてもらうことを目的に実施した。 毛筆を書く姿勢や道具の置き方・筆の 持ち方・筆使い・文字の構成など、毛 筆を書くための基本を学び、各自が選 んだ七夕にちなんだ言葉を半紙に仕上 げた。  短冊には願いごとを書き各自が笹に飾 り付け、伝統文化である七夕を体験し た。7月中、2階廊下にて半紙作品を展 示した。  日時:平成24年7月1日(日)  受講者数:41名 受講料:無料 会場:実習室	18,605	—

12	書道講座 吉語を刻そう	<p>毎回好評の篆刻講座。今回は、4cm 角の印材に吉語を朱文(陽刻)で刻した。1回目は、講師から概要を説明していただいた後、朱と墨を使っての布字を行った。難しい作業だったが、講師の指導で全員時間中に終了することができた。2～3回目は奏刀。やや固めの印材に手こずったが、受講者全員がすばらしい作を仕上げる事ができた。</p> <p>印影は、一作ごとに額に入れて2階実習室前廊下に8月15日まで展示した。</p> <p>日時:平成24年7月8・15・22日 (全3回の各日曜)</p> <p>受講者数:28名 受講料:無料 材料費実費 会場:実習室</p>	59, 010	—
13	書道講座 名前を美しく	<p>日常生活で一番書くことが多い名前を、美しく書く方法を学んだ。1回目はペン、2回目は小筆を使用した。始めに文字の点画の基本を学び、講師に個人指導を受けながら名前を練習した。</p> <p>講師による各受講生への丁寧な指導により、受講生からは芳名録や祝儀袋など日常生活に生かせると好評であった。</p> <p>日時:平成24年10月17・24日(各日曜) 受講者数:34名 受講料:無料 会場:実習室</p>	40, 332	—
14	書道講座 楽しい表具	<p>今回の表具講座は、その基本である「裏打ち」を中心とした。1回目は、ハガキと30cm角の作品の裏打ち。講師の裏打ちの実演の後、各自が練習した。ほとんどの受講者は表具未経験であったが、講師のアドバイスによって「板張り」まで仕上げる事ができた。2回目は、まず前回に裏打ちしたハガキの額装と貼り込み。最後に条幅の2分の1サイズの作品の裏打ちをした。</p> <p>和気あいあいとした雰囲気の中で、今回の表具講座のリクエストも多かった。</p> <p>日時:平成24年12月4・11日(各日曜) 受講者数:32名 受講料:無料 材料費実費 会場:実習室</p>	88, 680	—

15	書道講座 書き初め 条幅に 書いてみよう！	<p>小学生を対象に、条幅(約 135cm×35cmの紙)に大筆で書き初めを行った。始めに講師から書き初めの由来について話があり、その後、実際に範書していただきながら、条幅を書く姿勢や、大筆の筆使い、文字の配置の仕方などを学び、受講生が自分で選んだ言葉を作品に仕上げた。</p> <p>作品は1月中、2階廊下に展示した。</p> <p>日時:平成25年1月6日(日)</p> <p>受講者数:23名</p> <p>受講料:無料</p> <p>会場:実習室、講座室</p>	30,500	—
16	書道講座 漢字の書法を学ぶ 行書	<p>最初に、執筆と運筆についての講話があり、強く握りすぎないことや、腕・体全体で書くことの大切さ、また多習しないと上達は望めないこと等わかりやすく説明していただいた。次に「行書の特徴」について「楷書とは異なる変化に富んだ形・点画の呼吸のつながり」等のお話しを、さらに、解説しながら範書していただいた。</p> <p>最後は、まとめとして受講者全員が作品を仕上げ展示した。</p> <p>日時:平成25年3月10・17日(各日曜)</p> <p>受講者数:39名</p> <p>受講料:無料</p> <p>会場:実習室</p>	39,000	—
	小計		941,011	0

(4) 展示事業【経費 16,176千円】【収入 1,184千円】

	事業名	概要	経費(円)	収入(円)
1	文学特別展 寂聴90歳記念展 恋と革命に生きた 女たち	<p>瀬戸内寂聴の代表的な伝記小説と私小説を取り上げ、描かれた女たちが何を求め、どう生き、何を残したかに迫った。</p> <p>田村俊子、岡本かの子、管野須賀子、平塚らいてう、伊藤野枝ら9人の写真、年譜、著作物、遺愛品等を展示し、寂聴がどんな取材をし、どう描いたかを紹介した。また寂聴の出家前後を描いた「比叡」も取り上げて、朗読会を開催した。</p> <p>期間:平成24年4月21日(土)～ 6月10日(日) 45日間</p> <p>入場者数:925名 観覧料:250円～500円 会場:特別展示室・ギャラリー</p>	2,706,607	238,600
2	文学企画展 生誕120年記念 小西英夫展	<p>新聞記者として活躍する傍ら、熱心に短歌に打ち込んだ小西英夫。太田水穂や中村憲吉など、全国区で活躍する歌人を招いて歌会を開いたり、全徳島歌人協会を創設して県内歌人をまとめたりと、徳島の短歌界を盛り上げた。</p> <p>本展では、小西の短歌とともに、人生を紹介した。また、ご遺族から寄贈いただいた直筆の資料や愛用の硯、コレクションしていた短冊などを展覧した。</p> <p>期間:平成24年6月12日(火)～ 8月16日(木) 58日間</p> <p>入場者数:2,101名 観覧料:100円～300円 会場:文学常設展示室</p>	22,050	常設展観 覧料に含 む

3	<p>書道特別展 中林梧竹展 —創られた余白—</p>	<p>中林梧竹の大きな特長であり魅力である「余白」をテーマとした。梧竹は、余白を見事に創造し、効果的に作中に生かすことによって、独自の書境を開いた書家である。</p> <p>今回展では、梧竹が創った余白をわかりやすくパネル解説するとともに、梧竹作品24点のほか同時代の作家による作品7点を比較展示した。またロビーでは、パネル展示・体験コーナーを設けた。</p> <p>期間:平成24年6月30日(土)～ 8月15日(水) 41日間</p> <p>入場者数:1,824名 会場:特別展示室・ギャラリー 観覧料:250円～500円</p>	1,437,321	199,210
4	<p>文学特別展 水と緑のラブレター —名作のふるさと・ 四国—</p>	<p>四国の自然を描いた文学作品や作家を紹介し、その魅力を育んだ四国の豊かさとし、美しさを再発見してもらうテーマとした。</p> <p>四国を旅して書かれた林芙美子の「国土巡礼 扁舟紀行」や、徳島が小説の舞台モデルとなった井伏鱒二の「多甚古村」をはじめ、四国出身の大原富枝、宮尾登美子、瀬戸内晴美の作品、そして、故郷・四国の森を神話的世界として描き出す大江健三郎や、瀬戸内の海と島々を愛した賀川豊彦の文章などを、風景写真家・宮武健仁の写真とともに紹介した。</p> <p>また、徳島在住のカヌーイスト野田知佑の川旅エッセイを水先案内として、四国の川の魅力を伝えた。</p> <p>期間:平成24年8月19日(日)～ 9月23日(日) 31日間</p> <p>入場者数:636名 観覧料:250円～500円 会場:特別展示室・ギャラリー</p>	2,860,636	127,130



5	<p>書道特別展 小坂奇石展 奇石の遺した言葉と書</p>	<p>今回は、小坂奇石が遺した「書に関する言葉」をテーマとした。奇石に書を学んだ方からアンケート調査を行い収集した言葉、奇石の著書及び奇石が発刊した雑誌『書源』の巻頭言の中から、書に関する言葉97点を厳選し、館蔵及び個人等所蔵の書作品・資料28点とともに展示した。</p> <p>言葉は「修養・学問」「稽古・練習」「執筆」「古典・臨書」「用具」「心構え」「制作」「線」「書道観」の9分野に分けてパネルで展示し、奇石の書に対する考えを紹介した。</p> <p>期間:平成24年10月6日(土)～ 11月18日(日) 39日間</p> <p>入場者数:1,017名 観覧料:250円～500円 会場:特別展示室・ギャラリー</p>	2,351,508	249,200
6	<p>文学書道企画展 開館10周年記念展 とくしま讃歌ー詩と書と音楽とー</p>	<p>開館10周年を記念して、「とくしま」の豊かさを文学と書道で表現し、文学館の歩みを振り返るイベントを開催することで、県民に館の存在を周知し、より親しんでもらう機会とした。</p> <p>具体的には記念展として、徳島ゆかりの文学者22名に詩作品を提供していただき、県内の書家22名が揮毫した作品の展覧会を開催した。また10年間のポスターをロビーに展示し、コンサートも開催した。</p> <p>期間:平成24年11月27日(火)～ 12月5日(水) 8日間</p> <p>入場者数:880名 観覧料:無料 会場:ギャラリー</p>	696,481	0

7	書道企画展 徳島県高校生 第2回 書道席書創作コンクール展	<p>徳島県内の高校生から「漢字」「漢字仮名交じり」「仮名」の3分野の作品を募集し、予選で選出された各分野 15名(45名)が出場して11月23日に本選(席書)を実施した。</p> <p>本選では、決められた5つの課題の中から各自が1つを選択し、制限時間内に若々しい魅力溢れる見事な作品が仕上げられた。</p> <p>本選の作品は、大賞・準大賞・特賞・優秀賞を決定し、すべてを展示した。また、12月15日に当館講座室にて表彰式を行った。</p> <p>期間:平成24年12月8日(土)～ 16日(日) 8日間</p> <p>入場者数:385名 観覧料:無料 会場:ギャラリー</p>	779,815	0
8	書道企画展 「今年の一文字」展 2012	<p>年末の恒例行事となった「今年の一文字」展。気楽に「書」に親しむ機会として開催している。1年を振りかえって、世相や印象に残った漢字一字を、ハガキに毛筆で書いていただいた。</p> <p>今回は、昨年を上回る420点(205字)の応募があり、すべてロビーに展示した。一番多かった漢字は「夢」で20点であった。他に「楽」や「笑」など、昨年に比べて明るい意味の漢字が多かった。</p> <p>期間:平成24年12月15日(土)～ 27日(木) 11日間</p> <p>観覧者数:487名 会場:1階ロビー 観覧自由</p>	8,337	0

9	<p>文学特別展 露伴・茂吉・寅彦と 小林勇展－その人 生と書画－</p>	<p>17歳で草創期の岩波書店に入り、出版人として非凡な才能を発揮した小林勇。幸田露伴、斎藤茂吉、寺田寅彦をはじめ、一流の作家や学者たちから厚い信頼を得て昭和戦前・戦後期の日本の良識をリードする数多くの書物を出版した。</p> <p>露伴、茂吉の書や寅彦の絵画、直筆の書簡とともに、小林の業績や文豪たちとの交流を紹介した。さらに「もっとも大切な修練道」として小林自身が真剣に取り組んだ「冬青小林勇」の書画を展覧した。</p> <p>期間:平成24年12月20日(木)～ 平成25年2月3日(日) 33日間</p> <p>入場者数:990名 観覧料:250円～500円 会場:特別展示室・ギャラリー</p>	2,457,714	215,430
10	<p>文学企画展 中原淳一展～夢と 美を創った人～</p>	<p>香川県に生まれ、2歳の時に徳島市に移住し10歳まで過ごした中原淳一は、19歳のときにその才能を見出され、雑誌『少女の友』の表紙絵などを手がけるようになった。戦後には、自ら『それいゆ』をはじめとする女性誌を創刊して新しいライフスタイルを提案。</p> <p>多くの女性に夢と希望を与え続けた中原ゆかりの雑誌を中心に、彼が挿絵を描いた吉屋信子、川端康成などの書籍、また当館収蔵の原画、中川静子宛の書簡などを展示し、中原淳一の仕事に込められたメッセージを紹介した。</p> <p>期間:平成25年1月17日(木)～ 3月24日(日) 58日間</p> <p>入場者数:1,806人 観覧料:100円～300円 会場:文学常設展示室</p>	211,933	常設展観 覧料に含 む

11	書道特別展 生誕100年記念 赤羽雲庭展－驥山 館収蔵品を中心に －(巡回展)	<p>赤羽雲庭(1912－1975)は、30歳代にして「王羲之を書かせたら右に出る者はいない」とまでいわれた書家である。後には、禅林墨跡風へと大きな変化を遂げ、まさに巨匠というにふさわしい雲庭独自の世界を表現した。</p> <p>今もなお雲庭ファンは多いものの、これまで遺墨展はほとんど開催されておらず、このたび長野市にある驥山館、成田市にある成田山書道美術館を中心として借用し、テクニシャンといわれながらも、巧みな書を是としなかった雲庭の作品を紹介した。</p> <p>期間:平成25年2月16日(土)～ 3月20日(水・祝) 32日間</p> <p>入場者数:592名 観覧料:250円～500円 会場:特別展示室・書道美術常設展示室</p>	2,643,302	154,550
	小計		16,175,704	1,184,120
	合計		20,064,253	1,184,120